



## 加藤玲名

ヴァイオリニスト／かとうれな

profile ●6歳よりヴァイオリンをはじめ。桐朋学園大学卒業。第2回東京室内楽音楽コンクール優勝。サイトウキネン「若い人のための室内楽勉強会」にて小澤征爾指揮の下コンサートマスターを務めた他、オーケストラの客演首席奏者としての出演多数。NHK『紅白歌合戦』のほか、TVドラマや映画音楽、ライブ等にも参加。東日本大震災復興チャリティーコンサート、千葉県がんセンターや小中高校での「芸術鑑賞会」など、地域での活動にも力を入れている。

ヴァイオリニストとしての演奏活動と音楽を通した社会貢献に力を入れる加藤さんに、音楽への向き合い方や今後の活動について伺いました。

ヴァイオリンを始めたきっかけと、音楽家として活動するまでの経緯を教えてください。

2歳からピアノを始め、5歳のときに桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」に入室し、6歳からヴァイオリンを始めました。父が声楽家で、母がピアノ教師だったこともあり、音楽を学ぶ環境が整っていて、両親の影響で音楽の道に進んだという感じでした。桐朋学園女子高等学校音楽科(共学)、同大学在学中はヨーロッパ各国に短期留学し音楽を学びました。卒業後は大学に嘱託演奏員として所属し、その後プロのヴァイオリニストとして活動を始めました。

プロの演奏家として、これまでにどんな活動を行っていますか？

国内外でオーケストラや室内楽の演奏活動を行うほか、TVや映画音楽、ポップスのアーティストのライブなどにもたくさん参加してきました。2009年に千葉を越してきたことをきっかけに、音楽を通した社会貢献に力を入れるようになり、東日本大震災や新型コロナなどへの支援活動を続けています。

2009年に開設したヴァイオリン・ソルフェージュ教室は、2015年から「千葉中央音楽教室」に改名し、管弦楽器、ピアノ、楽典、ソルフェージュなど幅広く指導しています。

現在は、主にどんな活動を行っていますか？

現在も、クラシックの演奏会やTV、映画音楽、ポップスのライブの伴奏など活動の基本的なスタンスは変わっていませんが、今は県内病院への慰問演奏など音楽を通した支援活動により力を入れています。東日本大震災の直後にボランティアとして現地に赴き、翌年の2012年に千葉中央レクサスで開催したチャリティーコンサートは、現在でも年に一度続けています。昨年は、念願だった音楽サロン「Salon de RENA」をオープンし、コンサートなどを開催しています。

加藤さんが思うヴァイオリンの魅力、音楽の魅力とは何ですか？

ヴァイオリンの一番の魅力は、音が人の声に近く心の琴線に触れることができることだと思います。オーケストラやアンサンブルなど、私は誰かと一緒に演奏して音楽を作り上げることが好きなので、合奏に向いている楽器だということも魅力ですね。

音楽の魅力は、人種や言語など関係なく通じる、世界共通の文化であることです。音楽のなかでも、何百年経っても演奏され続けているクラシックの素晴らしさは、やはり群を抜いています。この先もずっと輝きが失われることのない音楽だと思います。

ヴァイオリンを続けてきてよかったと感じるのはどんなときですか？

(震災直後に)石巻の避難所で教室を回って演奏した際に、聴いていただいた方が「今日のこの日を一生忘れません」と涙を流しながら言ってくださったときに、続けてきてよかったと思いました。音楽を通してさまざまな人と出会い、誰かを勇気づけたり力になれたりすることは、ヴァイオリンを続けていなければできなかったことだと心から思っています。

音楽家として目指すものと、今後チャレンジしたいことはありますか？

音楽は人の助けになるということ、ボランティアの経験を重ねるなかで実感しているので、音楽を通して社会や人の役に立つことを続けていきたいと思っています。私が今ヴァイオリニストとして活動できているのは、両親や先生、友人など周囲から与えられた恵まれた環境があってこそだと思っています。これまで受けてきたそういう恩や今ある立場を自分のために利用するのではなく、人に役立つことにつなげることで還元していきたいです。そして、地域に密着した芸術・文化の振興も目指すものとして掲げているので、より多くの子どもたちにクラシック音楽とヴァイオリンの魅力を広め、ファンを増やしていきたいと思っています。

読者のみなさんにメッセージをお願いします。

12月17日に京成ホテルミラマーレでクリスマスコンサートを、来年1月14日に、主宰している音楽サロンでサロンコンサートを、3月10日には京成ホテルミラマーレでメモリアルチャリティーコンサートを開催します。私のヴァイオリンは、400年前にイタリアのパオロ・マッジーニが作ったもので、ヴィオラに近い深い音がしますので、ぜひその生の音を聴きにいらしてください。